

第3学年 国語科学習指導案

学 級 3年2組 男子20名 女子14名 計34名
場 所 3年2組教室
授業者 小原 千知

- 1 単元名 2年生に民話や昔話をしょうかいしよう
教材名 「三年とうげ」李錦玉（光村図書3年下） 「つるのおん返し」「もも太郎」「泣いた赤鬼」他

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の「読むこと」の指導目標「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」と、「読むこと」の指導事項「ウ場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」と「オ文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。」を受けて設定された単元である。本単元では、「お気に入りの民話や昔話を2年生に紹介する」という言語活動を位置づける。

同系列の3年生の単元では、「もうすぐ雨に」で、物語が場面ごとのまとまりで「起承転結」の組み立てになっていること、人物の心情や物語の状況が移り変わっていくことを学習した。

本単元で扱う教材は、中心教材「三年とうげ」と、並行読書で読む民話や昔話である。中心教材「三年とうげ」は、場面が起承転結で構成されており、①「三年とうげ」と言い伝えの紹介②おじいさんが三年とうげで転ぶ事件③トルトリが、峠で何度も転ぶことを提案する解決へのきっかけ④おじいさんが三年とうげで何度も転び元気になる結末、という組立てになっている。また、事件の発生や事件が解決していく過程に登場人物の気持ちの変化が描かれているため、場面の移り変わりに着目しながらお話の面白さを読むのに適した教材である。

(2) 児童について

本学級は、物語等の読書に意欲的に取り組む児童が多い。しかし、本文から登場人物の心情を想像したり、場面を比べたりしながら読むことに課題がみられるため、本単元を通して、場面や登場人物の心情の変化を捉える力を身に付けさせたい。

学習には意欲的に取り組む児童が多いが、相手や目的に応じて自分の考えを話したり、書いたりする力が不十分であるため、ペア・グループ学習による交流の場を設定したり、振り返りで他の児童の考えを認める内容を価値付けたりする指導を行っている。本単元でも交流によって思考が深まる楽しさを感じさせたい。

(3) 指導について

本単元では、学習のゴールに「お気に入りの民話や昔話を2年生に紹介する」という言語活動を位置付ける。そのために、単元を通して民話や昔話における場面の移り変わりや、登場人物の気持ちの変化等の視点から民話や昔話の面白さを捉え、自分の言葉で表現する活動を行っていく。

一次では、民話の読み聞かせと本の紹介を行い、最終的には2年生に本の紹介をするという目的に合わせた学習計画を立てる。また、民話や昔話の並行読書を行い、お気に入りの本を探す。

二次では、教材「三年とうげ」を使って、民話や昔話のおもしろさを、場面や登場人物の気持ちの移り変わりから捉える読み方を学習し、紹介文にまとめる。また、読み取ったことの交流を通して、感じ方や捉え方に違いがあることを確認する。読み取りに支援が必要な児童に対しては、具体的な視点や、紹介文の文頭・文末を与えたり、交流を通して友達考えにふれる機会をつくったりしていきたい。

三次では、「三年とうげ」で学んだ視点を生かして、自分が選んだお気に入りの民話や昔話を読み、面白いと思ったところを紹介文として、2年生に紹介する。また、互いの紹介文を読み合い感想を伝え合うことで学習の満足感を味わわせたい。

3 単元の見目標と評価規準

観点	目 標	観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	・民話や昔話に興味をもち、進んで読もうとする。	国語への関心・意欲・態度	・民話や昔話に興味をもち、進んで読もうとしている。
読むこと	・自分が選んだ民話や昔話の面白さを紹介するために、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化等を捉えて読むことができる。(ウ) ・自分が選んだ本の面白いところを根拠とともに紹介し合い、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。(オ)	読む能力	・民話や昔話の面白さを紹介するために、事件の発生と解決の流れや、登場人物の気持ちの変化等の様子に着目して読んでいる。 ・民話や昔話には、様々な種類があり、出来事の変化や登場人物の人柄や行動、気持ちの変化等様々な面白さがあることを、交流を通して気付いている。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・工夫された表現に着目し、語句を増やすことができる。(イ (オ))	言語についての知識・理解・技能	・民話や昔話にある音や言葉の繰り返し等の表現に着目し、語句を増やしている。

4 指導計画 (6時間)

段階		本時の目標	学習課題と主な学習活動	評価規準, 評価の観点【 】 方法 ()
一次	1	① 学習の見通しをもつことができる。 民話や昔話を読んで、おもしろいと思うところをしようかいしよう。	学習の見通しをもとう。 ・民話の読み聞かせと紹介を聴き、面白いと思うところをまとめたり、紹介したりするために必要な学習計画を立てる。 ・ブックリストをもとに並行読書を始める。	・学習の見通しをもとうとしている。 【関・意・態】(発言・観察)
二次	4	② 「三年とうげ」を読み、民話や昔話の構成と出来事の変化を読み取り、内容の大体を捉えることができる。	「三年とうげ」のあらすじをまとめよう。 ・民話や昔話の構成を確認し、登場人物と起承転結の流れを短くまとめ、紹介文の「あらすじ」の部分を完成させる。	・「起承転結」の文章構成と内容の大体を捉えている。 【読む】(ワークシート・発言)
		③ 「三年とうげ」を読み出来事やおじいさんの気持ちの変化を捉えることができる。	「三年とうげ」でおこる出来事や登場人物の様子をたしかめよう。 ・三年とうげで起こる事件や、それに関わる出来事がどのように変化するかを読み取る。 ・出来事の変化と合わせて、おじいさんの気持ちの変化を読み取る。	・場面ごとに出来事や登場人物の気持ちが変わっていることを捉えている。 【読む】(ワークシート・発言) ・言い伝え等のリズムのいい表現に気付いている。 【言イ (オ)】(発言・観察)

		④ 民話や昔話の特徴をもとに、「三年とうげ」のお話の面白さに気付くことができる。【本時】	「三年とうげ」でおもしろいところはどこだろうか。 ・「三年とうげ」で一番面白いと思ったところを見付け、交流し合う。 ・「三年とうげ」の紹介文を完成させる。	・登場人物の言動や人柄、場面の移り変わり、不思議な出来事等、民話や昔話の特徴を捉えながら、面白いと思ったところについてまとめている。 【読む】(ワークシート・発言) ・リズムの良い表現や言い回し等に注目している。 【言イ(オ)】(発言・ワークシート)
三次	2	⑤ 自分が選んだお気に入りの民話や昔話の面白いところを紹介文にまとめることができる。	お気に入りの民話や昔話のしょうかい文を書こう。 ・前時までに学習したあらすじの書き方や、読むときの視点を生かして、自分のお気に入りの民話や昔話の紹介文を書く。 ・紹介の練習をかねて、学級で交流する。	・場面や気持ちの移り変わりなどに注目して面白いと思ったところをまとめている。 【読イ】(ワークシート・発言)
		⑥ お気に入りの本を2年生に紹介し、単元の振り返りを行う。	2年生にお気に入りの民話や昔話をしょうかいしよう。 ・2年生に民話や昔話を紹介し、自分に付いた力を確認する。	・場面や気持ちの移り変わりなどに注目して面白いと思ったところを分かりやすく紹介している。 【読む】(紹介の様子)

5 本時の指導(4/6)

(1) 目標

「三年とうげ」の出来事の移り変わりや登場人物の気持ちの変化等に注目し、民話や昔話の面白さや特徴に気付くことができる。

(2) 支援と評価

評価の観点・評価規準	期待する児童の評価例	努力を要する児童への支援
【読む能力 ウ】 登場人物の言動や人柄、場面の移り変わり、不思議な出来事等、民話や昔話の特徴を捉えながら、面白いと思ったところについてまとめている。	おもしろいところは、おじいさんが転ぶ場面です。理由は、さいしょは、一度転んだだけで病気になったおじいさんが、トルトリの話を聞いたとたん、とうげで何度も転ぶくらい元気になったからです。	・場面の移り変わりや、登場人物の気持ち等の視点を与える。 ・「最初は～だったけど～」等の書き出しを提示する。

(3) 研究とのかかわり

【学び合いを深める工夫】

- ・面白いと思ったところが同じペアで話し合いを行わせることにより、それぞれがどのようなことを根拠としているのか聞きあうことができるようにする。

【表現する力を高める工夫】

- ・面白いと思うところについて、ペアや全体で交流したことを生かして自分の考えを再構成し、昔話や民話の面白さを場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化という視点に着目してまとめさせる。

(4) 展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	・指導上の留意点 <評価> ○研究内容との関わり
とらえる 5分	1 課題を把握する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「三年とうげ」でおもしろいところはどこだろうか。</div> 2 見通しをもつ ・本時は「面白いところ」を見付け、交流する学習であることを確認する。		・前時までのワークシートで民話や昔話の流れや、登場人物等を確認する。 ・モデル文を提示し、本時に書く部分を確認する。
たしかめる 30分	3 自分の考えをもつ ・面白いところを選び、理由をワークシートに書く。 4 学び合いをする ・自分の名前を書いた付箋を黒板に貼り出し、自分と同じところを選んだ児童を探し、ペアで交流する。 ・面白いところを全体で交流する。 ・場面や気持ちの変化等が、三年とうげの面白さにつながる視点であることを確認する。 ・面白いところを紹介文にまとめる。 <評価規準Bの文例> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">おもしろいところは、おじいさんが転ぶ場面です。理由は、さいしょは、一度転んだだけで病気になったおじいさんが、トルトリの話を聞いたとたん、とうげで何度も転ぶくらい元気になったからです。</div>	・おじいさんが何度も転ぶところ ・理由は顔が面白いから。 ・三年とうげの言い伝え（歌） ・トルトリの知恵 ・理由は、最初は言い伝えを信じて落ち込んでしまったおじいさんが、トルトリの話を聞いただけで元気になるから。 ・場面によっておじいさんの気持ちが変わっているからおもしろい。 ・言い伝えが変わっているから面白い。 ・トルトリの知恵が面白い。	・面白いところを確かめたり、広げたりするために、付箋に自分の考えをまとめ、友達と交流しやすくする。 ・支援が必要な児童には、書き出しの言葉を与える。 ○面白いと思ったところが同じペアで話し合いを行わせることにより、それぞれがどのようなことを根拠としているのか聞きあうことができるようにする。 ・面白いと思ったところを「民話や昔話を読むときの視点」として、一般化していく。 ○面白いと思うところについて、ペアや全体で交流したことを生かして自分の考えを再構成し、昔話や民話の面白さを場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化という視点に着目してまとめさせる <評価規準> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">登場人物の言動や人柄、場面の移り変わり、不思議な出来事等、民話や昔話の特徴を捉えながら、面白いと思ったところについてまとめている。</div>
まとめる 10分	5 まとめる ・「三年とうげ」の面白さを確認する。 ・似たような面白さをもつ民話や昔話を考える。 6 振り返る ・本時の学習で大事だと思ったことを書く。 ・次時の学習の見通しをもつ。	・場面や登場人物の心情の移り変わり ・つるのおんがえし ・ももたろう ・泣いた赤鬼 ・次に昔話を読む時は、場面や登場人物の気持ちの変化に気をつけて読もうと思った。 ・他の面白さを見付けてみたい。	・本時で学習した面白さをもつ他の民話や昔話への興味・関心をもたせる。

